



OCR注文書への記入のしかた

OCR注文書は機械で自動読み取りしておりますため、間違えて読み取るおそれがあります。ご記入の際は、以下を参考にさせていただきたくお願いします。



OCR注文書に品名の記載がない、4桁・6桁番号の商品の注文のしかた

上段注文欄に申込番号を右詰めか左詰めでご記入の上、数量もご記入ください。10個以上もご注文できるようになっています。



Week案内申込番号が1～1220の商品の注文のしかた

同じ申込番号の記入欄に注文数を記入します。1マス最大9個までご記入できます。

※10個以上必要な場合は配達担当者へご相談ください。



ただしい書き方

鉛筆かシャープペンでご記入ください。

※サインペン、ボールペン、色えんぴつ、蛍光ペンで記入すると機械が読みとりできません。



読みとりできない文字の一例

- 枠からはみだしたものの・ななめ字体
 - 字が薄すぎたり太すぎたりするもの
 - ボールペンや色鉛筆、サインペン、蛍光ペン類で書かれたもの
 - 落書きは数字として読みとる可能性があるため、ご注意ください。
- | | | |
|--------------------|------------|-------------|
| ❶ カギをつけると、7に読むので注意 | ❷ 4か6か判読困難 | ❸ 字はていねいに |
| ❹ 1と読むので注意 | ❺ 3か8か判読困難 | ❻ はみ出さないように |

◆お問い合わせは… 共同購入の担当者、または共同購入各センターへ

*青森センター 0120-373-122	*弘前センター 0120-084-466
*浪岡センター 0120-280-091	*十和田センター 0120-126-236
*むつセンター 0120-122-373	*八戸センター 0120-286-003

◎受付時間 月～金 8時半～19時

※上記以外は留守番電話での受付となります

【シリーズ 第81回】

被災地はいま

みやぎ生協・コープふくしま
から「宮城・福島のいま」をシ
リーズでお伝えしています

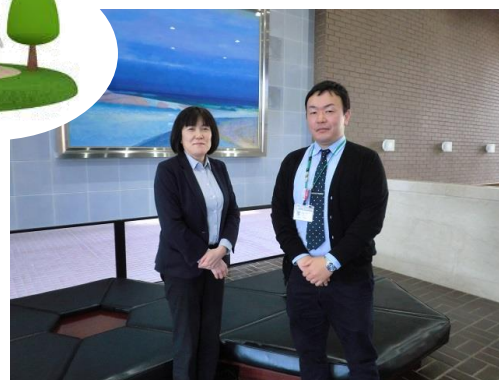


ー 地域とスポーツ ー 戻ってきた人たちが笑顔になれるスポーツの町づくり

◆福島県楢葉町(ならはまち)は、サッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」で有名な町です。「多数の天然芝のサッカーコート有する日本最大規模の施設があることが町民の自慢の一つだった」と楢葉町教育委員会の手島健祐さんは言います。町はスポーツ振興に取り組み、地区対抗などのスポーツ大会も活発に行われていました。しかし、東日本大震災に伴う原発事故で町の大半が警戒区域に指定され、町民も避難を余儀なくされました。またJヴィレッジも事故収束のための前線基地となり、スポーツ施設としては使えなくなりました。避難指示が解除され、町に住民が戻り始めたのは2015年9月です。町では道路や建物などの復興を急ピッチで行なった後、農業や教育などの重要施策に本格的に着手しました。重点施策の柱の一つが「健康増進とスポーツ振興」です。町ではそれを「楢葉町スポーツ推進基本計画」(以下、基本計画)としてまとめました。

◆2018年7月に再開したJヴィレッジ、2019年4月にオープンした屋内体育施設ならはスカイアリーナが、基本計画の策定を後押ししました。「スポーツを通じて町を盛り上げていこうという機運が生まれたのは、この2つの施設があったから」と手島さん。2つの施設は同時に復興のシンボルでもありました。基本計画のテーマは「スポーツを通じて楢葉町の住民が誇りを持って暮らせる町づくり」です。楢葉町教育委員会の高木さつきさんは「楢葉に戻ってきた人たちが、スポーツを“する”だけでなく“見る、支える、楽しむ”と様々な形でスポーツに関わる町、スポーツを通じて笑顔が生まれる町になってほしい」と話します。例えば“する”では、幼児や高齢者でもできるウォーキングサッカーなど広義のサッカーの取り組み、“支える”ではスポーツボランティア登録制度の導入など、誰もがスポーツに携われるような環境づくりを進めます。さらに基本計画では、町外へのアプローチとしてスポーツ合宿の誘致や宿泊型の保健指導など、スポーツツーリズムの推進をあげています。

◆楢葉にはJヴィレッジやならはスカイアリーナなど、観光しながらスポーツをし、健康増進を図ることのできる施設が整っています。「楢葉に来ていただいて楢葉の良さを分かっていた。そうした取り組みが交流人口につながることも期待したい」と高木さん。帰還した町の人々が誇りを持って暮らせるよう、きめ細かな施策でスポーツのまち楢葉の再生と復興が進められていきます。



▲楢葉町教育委員会総務課課長の高木さつきさん(左)と同主査の手島健祐さん。「計画の中には実際始まっている事業がいくつかあります。状況を見ながらトリアル、本格実施へと進めていきます」。



▲プールやフィットネスルームを備えた室内体育施設、「ならはスカイアリーナ」。学校との連携で、子どもたちの水泳の授業や部活動に利用されることもあります。

1人1日当たり…目標値まで あと 22g

平成30年度における本県の1人1日当たりのごみ排出量は1,002gと、著実に減少してきており、第3次青森県循環型社会形成推進計画において、令和2年度までの目標としている980gまであと22gとなっています。

青森県のごみ排出量とリサイクル率の現状

	目標（令和2年度）	平成30年度
1人1日当たりのごみ排出量	980g	1,002g
リサイクル率	25.0%	14.5% ※

※民間回収を含めた全体では29.9%

平成30年度における本県の1人1日当たりのごみ排出量は1,002gと、著実に減少してきており、第3次青森県循環型社会形成推進計画において、令和2年度までの目標としている980gまであと22gとなっています。



県では、目標の達成に向けて県民総参加でごみの減量とリサイクルに取り組む気運をより一層高め、3Rの更なる実践を図るため、6月から10月までの間、「ごみ減量チャレンジ980キャンペーン」を実施中。

■3Rでごみを減らそう！

- ①リデュース・・・ごみの発生、資源の消費そのものを抑制すること（発生抑制）
- ②リユース・・・使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること（再使用）
- ③リサイクル・・・廃棄物等を原材料やエネルギー源として利用すること（再生利用）

・・・出典：エコ・ナビ・あおもり



「私のひとこえ」をお寄せください



お気に入りの商品やおすすめのメニュー、商品のご要望などについて、「私のひとこえ」に記入してご提出ください。「私のひとこえ」用紙は、Week55ページに隔週（BD週）で掲載があります。WeekBD週の55ページは、「ひとこえ」にお応えし、ご要望品をご案内するページとなっています。



私のひとこえ

お気に入りの商品、おすすめメニュー、商品のご要望などお寄せください。

●お名前
 ●はな名
 ●組合員番号

〇思いつくだけ記入
 〇回答必要
 〇回答不要

※ご記入後、切り取って配達担当者にお渡しください。
 ※書ききれない時は別紙をご用意いただき、この用紙と一緒に配達担当者に
 お渡しください。
 ※「私のひとこえ」欄は、BD週55ページでの掲載となります。
 ※記載いただいた情報は、共同購入の企画に関わる事以外には使用しません。

年 月 日



土地・建物の処分等にお困りではありませんか？

売りたい・・・
買いたい・・・

お悩みの方は
ご相談を！



土地・建物
アパート・マンションを
お探しの方もお手伝いします。

無料相談

無料査定

- 相続した実家を売却したい
- できるだけ早く売却したい
- 空地・空家で困っている

組合員は
お得！

不動産の買取・仲介が成立した場合

30,000円分の
ギフト券プレゼント！

※生協より
お届けいたします。

※仲介の場合は、別基準でお支払いする場合がございます。

■コープあおもり提携業者が承ります。

株式会社いす不動産 青森県知事(2)第3406号	八戸市	有限会社サンアイ地所 青森県知事(7)第2494号	むつ市
株式会社不動産センター十和田 青森県知事免許(11)第1739号	十和田市 三沢市	サンライズ不動産株式会社 青森県知事免許(7)第2385号	五所川原市 つがる市
株式会社第一不動産 青森県知事免許(6)第2615号	弘前市 黒石市/平川市	ハウスドゥ！青森中央店 青森県知事免許(1)第3540号	青森市

◆お申込み・お問い合わせは
サービス事業センター

0120-540-502

■受付時間 午前9時～午後5時(月～金)